

ISEでのデバッグのトラブルシューティングと有効化

内容

[概要](#)

[デバッグログの設定](#)

[問題：プロファイリング](#)

[問題：ライセンス](#)

[問題：ポスチャ](#)

[問題：ゲストポータル](#)

[問題：dot1x/mab](#)

[問題：複製](#)

[問題：SAML関連の問題](#)

[問題：アプリケーションサーバの問題](#)

[問題：スポンサーポータル](#)

[問題：BYODポータル/オンボーディング](#)

[問題：MDM](#)

[問題：証明書プロビジョニング ポータル](#)

[問題：デバイス ポータル](#)

[問題：TrustSec](#)

[問題：脆弱性評価と信頼中心のNAC](#)

[問題：ODBC IDストア関連の問題](#)

[問題：RBACの問題](#)

[問題：pxGrid](#)

[問題：ログ/レポート](#)

[問題：Active Directory](#)

[問題：PassiveID](#)

[問題：RESTサービス](#)

[問題：TACACS](#)

[問題：ワイヤレス設定](#)

[問題：コンテキストの可視性](#)

[問題：RabbitMQメッセージング](#)

[問題：ライトセッションディレクトリ](#)

[問題：SSEコネクタ/Smart Call Home](#)

[問題：UDN](#)

[問題：エンドポイントスクリプト](#)

[\[LDAP\]](#)

[より一般的な問題のトラブルシューティングに必要なデバッグ](#)

[問題：ポータルの問題](#)

[問題：ポリシーとルールの評価の問題](#)

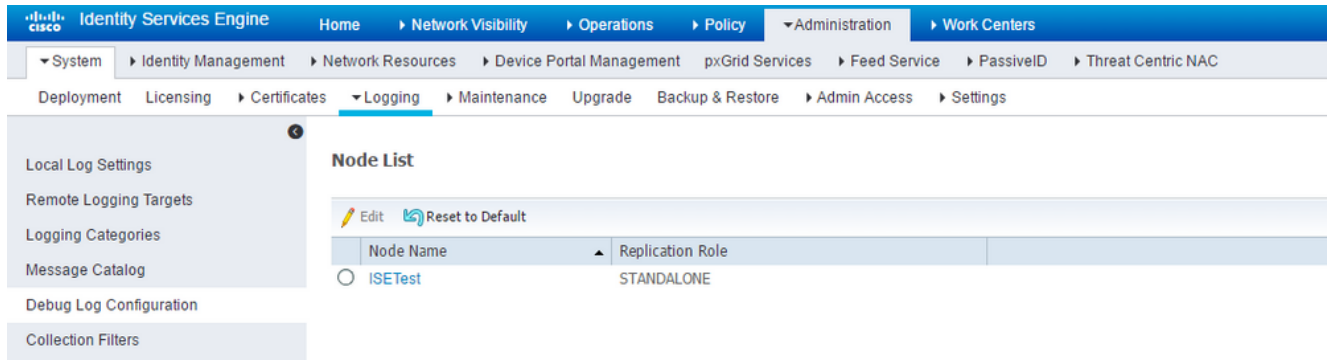
概要

このドキュメントでは、Identity Service Engine(ISE)で特定の問題が発生した場合にイネーブルにするためのトラブルシューティングとデバッグの方法について説明します。

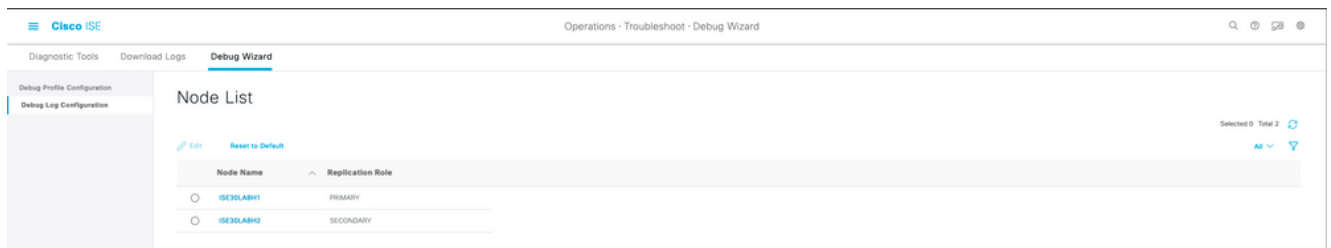
デバッグログの設定

ISEは、さまざまなタイプの機能に設定されたログレベルの設定に基づいてログを生成します。これらの設定を変更してログをデバッグレベルに設定するには、次の手順を実行します。

1. ISE 2.xバージョンの場合は、 **Administration > System > Logging > Debug log configuration**を参照してください。

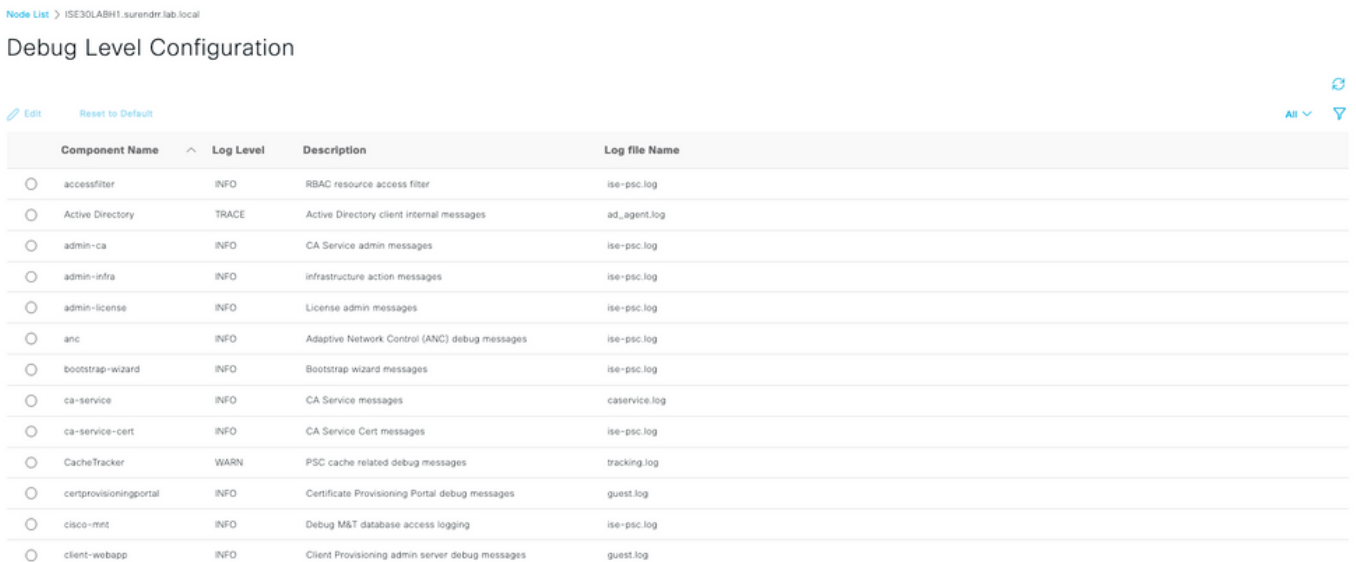


ISEバージョン3.xの場合は、 **Operations > Troubleshoot > Debug Wizard > Debug Log Configuration**を参照してください。



2. 影響を受けるノードまたは問題の原因となるノードを選択し、 **Edit**.

3. 図に示すように、さまざまなログ属性のリストが表示されます。



上の図のリストは完全ではありませんが、特定のサービスのログレベルを有効にできる場所です。ここで説明する機能のすべてのログ設定は、この場所から設定できます。このセクションは、次のドキュメントでデバッグページと呼ばれています。

また、ISE 3. xバージョンの場合は、機能ごとにデバッグを有効にすることも選択できます。**Operations > Troubleshoot > Debug Wizard > Debug Profile Configuration** 次に示すように、これらのデバッグを適用するノードを選択します。

The top screenshot shows the 'Debug Profile Configuration' page. It features a table with columns: Name, Description, Status, and Node Applied. The 'Guest portal' profile is selected, indicated by a red box and a '1' next to its checkbox. The 'Debug Nodes' button is highlighted with a red box and a '2' next to it. The bottom screenshot shows the 'Debug Nodes' page. It displays a table with columns: Host Name, Persona, and Role. The first node, 'ISE3DLABH1.surendr@lab.local', is highlighted with a red box and a '3' next to its checkbox. The 'Save' button is highlighted with a red box and a '4' next to it.

4.以降のセクションで特定の問題について説明した適切なデバッグを有効にした後、問題を再現/再作成します。

5.問題が再現されたタイムスタンプをメモします。

6.テストしたクライアントのエンドポイントID (MACアドレス) またはIPアドレスをメモします。

7.属性を選択してクリックするときに、ログレベルをデフォルトに設定します **Reset to Default**.

8.に移動します。 **Operations > Troubleshoot > Download logs**. ログを収集する必要があるノードを選択します。

9. サポートバンドルは、 **Operations > Troubleshoot > Download Logs > [問題が再現/表示されたノードを選択します]**。

10. 次のオプションを使用してファイルを生成します。

- 完全な構成データベースを含める
- Include debug logs
- ローカルログを含める
- コアファイルを含める
- モニタログとレポートログを含める
- システムログを含める

暗号キーを<Encryption key of choice>に設定します。

問題が再作成または表示される (期間) 日を選択します。

11. サポートバンドルを収集するには、 **download** をクリックして、クエリーを実行します。

Support Bundle Debug Logs

Include full configuration database ⓘ

Include debug logs ⓘ

Include local logs ⓘ

Include core files ⓘ

Include monitoring and reporting logs ⓘ

Include system logs ⓘ

Include policy configuration ⓘ

From Date ⓘ (mm/dd/yyyy)

To Date ⓘ (mm/dd/yyyy)

* Note: Output from the 'show tech-support' CLI command will be included along with the selected entries.

Support Bundle - Encryption

Public Key Encryption ⓘ

Shared Key Encryption ⓘ

* Encryption key ⓘ

* Re-Enter Encryption key

* Note: Log bundle may contain sensitive data. Ensure it is only distributed to authorized personnel.

Create Support Bundle

図に示すように、ここからサポートバンドルおよびその他の詳細をケースにアップロード [します](#)。

問題 : プロファイリング

デバッグレベルに設定する属性 :

- プロファイラ(profiler.log)
- runtime-AAA(prrt-server.log)
- nsf(ise-psc.log)
- nsf-session(ise.psc.log)

注：runtime-AAAをdebugに設定すると、prrt-JNIもデバッグレベルに設定されます。これは予想どおりの結果です。ランタイムデバッグを有効にすると、高負荷時に重大なパフォーマンスの問題が発生する可能性があります。問題をトラブルシューティングするには、TACに問い合わせるか、メンテナンスウィンドウでデバッグを有効にすることをお勧めします。

問題：ライセンス

デバッグレベルに設定する属性：

- ライセンス(ise-psc.log)
- admin-license(ise-psc.log)

問題：ポスチャ

デバッグレベルに設定する属性：

- ポスチャ(ise-psc.log)
- ポータル(guest.log)
- プロビジョニング(ise-psc.log)
- runtime-AAA(prrt-server.log)
- nsf(ise-psc.log)
- nsf-session(ise-psc.log)
- スイス(ise-psc.log)
- client-webapp(guest.log)

問題：ゲストポータル

デバッグレベルに設定する属性：

- ゲストアクセス(guest.log)
- guest-admin(guest.log)
- guest-access-admin(guest.log)
- プロファイラ(profiler.log)
- runtime-AAA(prrt-server.log)
- saml(guest.log) (samlが使用されている場合のみ有効)
- nsf(guest.log)
- nsf-session(guest.log)

問題：dot1x/mab

デバッグレベルに設定する属性：

- runtime-AAA(prrt-server.log)
- nsf(ise-psc.log)
- nsf-session(ise-psc.log)

問題：複製

デバッグレベルに設定する属性 :

- Replication-Deployment (replication.logおよびise-psc.log)
- Replication-JGroup (replication.logおよびise-psc.log)
- レプリケーショントラッカー(tracking.log)
- 休止状態(hibernate.log)
- JMS(replication.log)

問題 : SAML関連の問題

デバッグレベルに設定する属性 :

- opensaml(ise-psc.log)
- saml(ise-psc.log)

問題 : アプリケーションサーバの問題

デバッグレベルに設定する属性 :

- org-apache(appserver/catalina.out)
- org-apache-cxf(appserver/catalina.out)
- org-apache-digester(appserver/catalina.out)

問題 : スポンサーポータル

デバッグレベルに設定する属性 :

- sponsorportal(ise-psc.log)
- ポータル(guest.log)
- runtime-AAA(prrt-server.log)
- nsf(ise-psc.log)
- nsf-session(ise-psc.log)

問題 : BYODポータル/オンボーディング

デバッグレベルに設定する属性 :

- クライアント(guest.log)
- client-webapp(guest.log)
- scep(ise-psc.log)
- ca-service(ise-psc.log)
- admin-ca(ise-psc.log)
- runtime-AAA(prrt-server.log)
- nsf(ise-psc.log)
- nsf-session(ise-psc.log)
- プロファイラ(profiler.log)

問題 : MDM

TRACEレベルに設定する属性：

- ポータル(guest.log)
- mdmportal(ise-psc.log)
- external-mdm(ise-psc.log)
- runtime-AAA(prrt-server.log)
- nsf(ise-psc.log)
- nsf-session(ise-psc.log)

問題：証明書プロビジョニング ポータル

デバッグレベルに設定する属性：

- ca-service(caservice.log)
- admin-ca(ise-psc.log)
- clientprovisioningportal(ise-psc.log)
- ポータル(guest.log)

問題：デバイス ポータル

デバッグレベルに設定する属性：

- ポータル(guest.log)
- mydevices(ise-psc.log)
- プロファイラ(profiler.log)

問題：TrustSec

デバッグレベルに設定する属性：

- sxp(sxp_appserver/sxp.log)
- sgtbinding(sxp_appserver/sxp.log)
- runtime-AAA(prrt-server.log)
- nsf(ise-psc.log)
- nsf-session(ise-psc.log)

問題：脆弱性評価と信頼中心のNAC

デバッグレベルに設定する属性：

- va-runtime (varuntime.log)
- va-service (varuntime.logおよびvaaggregation.log)
- TC-NAC(ise-psc.log)
- anc(ise-psc.log)

問題：ODBC IDストア関連の問題

デバッグレベルに設定する属性：

- odbc-id-store (prrt-management.logおよびprrt-server.log)

問題 : RBACの問題

デバッグレベルに設定する属性 :

- accessfilter(ise-psc.log)

問題 : pxGrid

TRACEレベルに設定する属性 :

- pxgrid(pxgrid/)

問題 : ログレポート

デバッグレベルに設定する属性 :

- cpm-mnt(ise-psc.log)
- レポート(ise-psc.log)
- cisco-mnt(ise-psc.log)
- ランタイムロギング(prrt-server.log)
- コレクタ(collector.log)

問題 : Active Directory

TRACEレベルに設定する属性 :

- Active Directory(ad_agent.log)
- identity-store-AD(ad_agent.log)
- runtime-AAA(prrt-server.log)
- nsf(ise-psc.log)
- nsf-session(ise-psc.log)

問題 : PassiveID

デバッグレベルに設定される属性 :

- PassiveID(passiveid*)
- runtime-AAA(prrt-server.log)
- Active Directory(ad)_agent.log)
- collector(collector.log) (セッションが公開されている場合はPassiveID、MnTノードおよびアクティブpxGridノード)
- pxGrid(pxgrid/) (セッションが公開されている場合は、セカンダリMnTおよびアクティブなpxGridノード)

問題 : RESTサービス

デバッグレベルに設定する属性 :

- ers(ise-psc.log)

問題 : TACACS

デバッグレベルに設定する属性 :

- runtime-AAA(prrt-server.log)

問題 : ワイヤレス設定

デバッグレベルに設定する属性 :

- wirelesssetphelper (/wifisetup)

問題 : コンテキストの可視性

デバッグレベルに設定する属性 :

- vcs(ise-elasticsearch.log)
- vcs-db(ise-elasticsearch.log)

問題 : RabbitMQメッセージング

- ise-messaging(ise-messaging/)

問題 : ライトセッションディレクトリ

- Light-Session-Directory(lsd.log)

問題 : SSEコネクタ/Smart Call Home

- sse-connector(connector.log)

問題 : UDN

- UDN(udn.log)

問題 : エンドポイントスクリプト

- endpoint-script(ise-psc.log)

[LDAP]

- runtime-aaa(prrt-server.log)

より一般的な問題のトラブルシューティングに必要なデバッグ

問題：ポータルの問題

デバッグレベルに設定する属性：

- ポータル(guest.log)
- portal-session-manager(guest.log)
- portal-web-action(guest.log)
- previewportal (各ポータル設定ページの[preview]セクション) (guest.log)

問題：ポリシーとルールの評価の問題

デバッグレベルに設定する属性：

- RuleEngine-Policy-IDGroups(ise-psc.log)
- RuleEngine-Attributes(ise-psc.log)
- ポリシーエンジン(ise-psc.log)
- epm-pdp(ise-psc.log)
- epm-pip(ise-psc.log)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。